



学校経営理念 「私たちは、子どもたちが自立し、協働して社会に貢献できる人間になるための基盤を育成します。」
学校教育目標 1 めあてをもって勉強する子 2 なかよくたすけあう子 3 じょうぶでがんばる子

本気で授業に臨む

6月になり、子どもたちは学校生活に十分に慣れ、毎日を過ごしています。一方、「慣れ」が「だれ」になってしまっている児童が見られるのも事実です。別の言葉で言えば、しまりがなくなる、気持ちが緩んでいるのです。これでは学校教育目標の達成とは、ほど遠くなってしまいます。


そこで、「当たり前のできる小学生」として、「本気で授業にのぞむ」を設定し、全学級に掲示、指導しています。授業にはどんなときでも、真剣に、本気で取り組まなければなりません。しかし、「だれ」てきている児童にはそれができません。授業に、学習に本気で臨むことを徹底することで、それを生活面にも波及させていこうと考えています。いわゆる、「一点突破」の方法です。学習への真剣な態度を足がかりに、生活面でも「だれ」をなくし、基本的な生活習慣を一層確立していきたいと考えています。

最近、授業を参観すると、教師の話真剣に聞き、自分の学力を向上させようとする姿勢が見られます。問題をまず自力で解こうとし、次に隣の人や同じグループの人と相談して理解を深める、そして最後に、学級全体でそれぞれの考えを出して、練り合っって問題を解決していくような授業があります。みんなで協力して、それぞれの能力を高めようとしているのです。「だれ」ずに、本気で授業に臨める児童を一層育てていきます。

当たり前のできる小学生

本気で 授業にのぞむ

この授業は1回しかない。学ぶチャンスなのだから、どの授業でも、本気で真剣に授業に臨むことが大切。先生の話をしっかり聞くこと。ねばり強く考えること。



ゲーム、スマホ、SNS等の落とし穴

先日の授業参観後の教育講演会で、講師から「ゲーム障害」が2022年から正式な病名となることや、ゲーム等と発達の関係について教えていただきました。ゲーム等で自分を制御できなくなってしまう子どもたちがいるようです。

子どもたちは生まれながらにしてパソコン、携帯、スマホ等の通信機器が身の回りにある世代です。ネット社会とのつきあい方に注意していかなければなりません。スマホ等の便利な部分のみを見てしまうと、そこに落とし穴があります。本来ならば友達と面と向かって話し合いながら解決していくことも、便利さゆえ、さらに一歩踏みとどまって考えようという、ある種の「辛抱」がないために、SNSで友達の悪口を広めたり、友達を排除したりして、人間関係づくりができなくなってしまうことも見られます。さらに、学力が伸びなくなってしまうこともあります。学校でスマホ等は必要ありません。

御家庭でお子様にスマホ等を与えるときは、使い方はもちろん、友達のいやがるものを勝手にネット上に公開しないことや、「ネットはずし」などをしないことなど、情報モラルを教えることが必要です。道徳科の授業でも情報モラルを扱っていますが、それだけでは不十分です。スマホ等を与える保護者の皆様がお子様への指導をすることが不可欠です。

また、東北大学の医学博士が書かれた「スマホが学力を破壊する」などを一読し、スマホ等の使用のリスク、脳組織への影響等を保護者の皆様が理解し、子どもたちに対応していただければ幸いです。学校としてもPTAや児童会と協力して、何らかの取組を考えていきたいと思ひます。



2つのスタート

真岡市教育委員会指定「外国語活動・外国語」研究推進校

本年度より真岡市教育委員会の指定を受け「外国語活動・外国語」の研究を行っています。

いよいよ研究授業がスタートしました。児童たちが興味をもって、学習に集中するためには、どのような授業を行ったらいいかを考えていきます。写真は、5年生の授業の様子です。担任とAETが組み、「When is your birthday?」(あなたの誕生日はいつですか)の学習でした。

ここでは、月の英語、日付の言い方を学習し、互いに誕生日を尋ねあい、誕生日ポスターを仕上げるという言語活動を設定しました。子どもたちはこの活動の趣旨を理解し、意欲的に対話を行い、誕生日ポスターを作成しました。誕生日ポスターを作り上げる経過として、When is your birthday?という表現を身に付けていったのです。

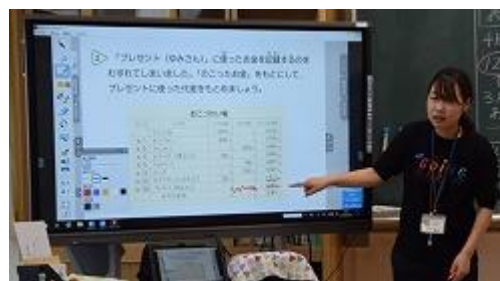


また、教師も「ミニ研修」を行っています。第1回のミニ研修では、教師も英語を使えないといけないということで、AETを講師として、普段の授業で使える英語の表現を練習しました。(左写真) まだ、不十分なところも多々ありますが、教師も学ぼうとしている姿勢を子どもたちに見せ、「学習者のモデル」となっています。

これからも、児童たちが楽しく、学力が身に付く授業のため、研究・研修を進めてまいります。

電子黒板が各教室に入りました

各教室に電子黒板が配備され、さらに、教師にはデジタル教科書の入ったタブレットが配付されました。教育長より「ICT元年 授業改革」と檄が出ていますが、教職員からは伝えやすくなったと大好評。児童たちからも分かりやすくなったと大好評。こちらの機器も更に研修を重ね、児童たちによりよい授業を提供していきます。



6月19日に授業参観、保護者会、PTA 教育講演会を行いました。講演会では、西真岡こどもクリニック理事長を招き、「子どもの発達とゲームゲーム障害を理解する」と題した講話をいただきました。



いよいよプールの季節が始まりました。終業式までの約1か月、たくさん泳がせてまいります。